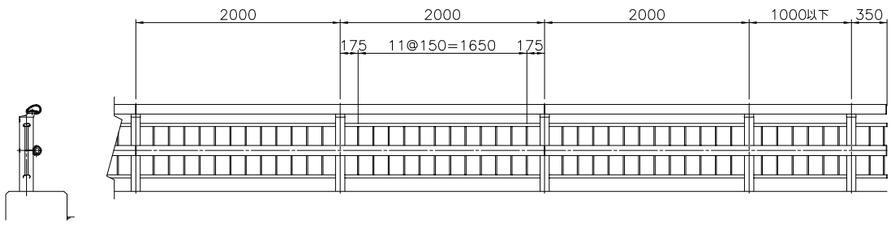
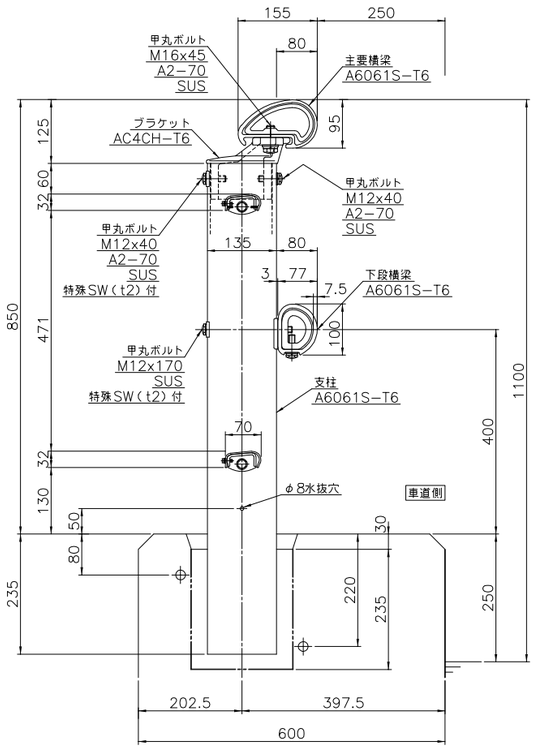
姿　図　S=1/30

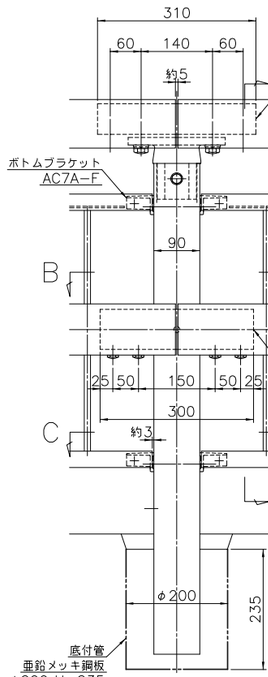


高欄兼用 車両防護柵取付詳細図　S=1/6

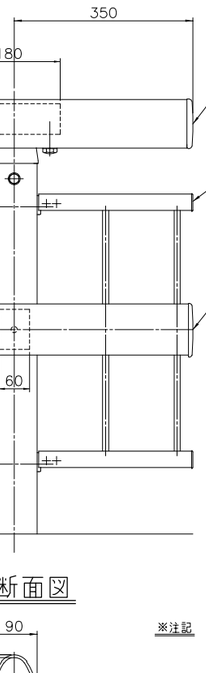
種別 A種



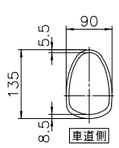
継手部



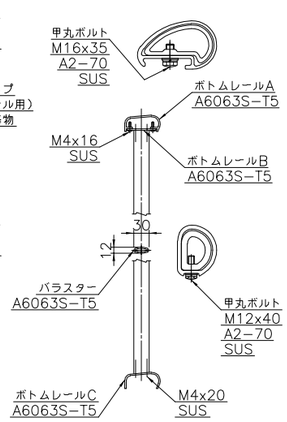
端　部



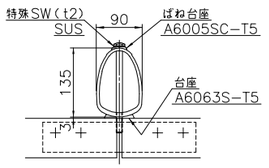
支柱断面図



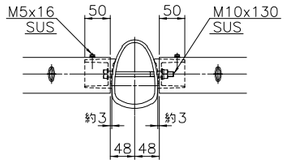
断面A−A



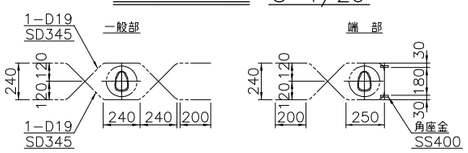
断面B−B



断面C−C



補強鉄筋図　S=1/20



※注記

1. 本防護槽の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会　土木製品開発委員会作成
　「アルミニウム合金製橋梁用防護槽設計要領」（平成30年6月）、
　「アルミニウム合金製橋梁用防護槽製作・施工要領」（平成27年3月）による。
2. 本防護槽の表面仕様
　主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ、支柱他型材部品は
　アルマイト処理とし、色調は別途打合せとする。
　ブラケット他鋳物部品は塗装処理、
　ボルトはシルバー色の時を除き着色処理とし、色調は別途打合せとする。
3. 本防護槽の支柱は、レベル用（0～1.5%勾配用）を示し、3%用は1.5%～4.5% 勾配用を示す。
4. 強度区分の表記なきボルト類はA2−50以上とする。ただし、ビス類はA2とする。

コンクリート強度　σck=21N/mm^2 以上

日軽エンジニアリング（株）

NA−12TB−85

高欄兼用車両防護柵　A種
2本ビーム＋格子付き　H=850mm
埋め込み式

2025年2月